



平成28年10月28日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 代 表 者 名 代表取締役 社長 串田 守可
 (コード番号 5602 東証第一部)
 問 合 せ 先 総合企画室長 織田 晃敏
 (TEL. 06-6538-7719)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年5月12日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 業績予想数値の修正

平成29年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月12日発表)	百万円 45,000	百万円 400	百万円 200	百万円 3,000	円 銭 237.10
今回修正予想(B)	45,700	1,100	900	3,900	308.23
増減額(B-A)	700	700	700	900	
増減率(%)	1.6	175.0	350.0	30.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期 第2四半期)	43,775	365	151	481	37.25

(注)前回発表予想(A)の1株当たり四半期純利益の数値は、第1四半期決算短信公表時に再計算した数値となっております。また、当社は、平成28年10月1日を効力発生日として当社普通株式について10株を1株に併合致しましたが、当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高におきまして機械部門の大型案件で一部下半期に繰り延べられましたが、素形材部門、化成品部門を中心に一部出荷が前倒しになったことなどで計画を上回る見込であります。

利益面におきましては、増収による増益及び、バルブ部門、化成品部門において比較的利益率の高い製品の売上が上半期に集中したことに加え、全体的に原価低減が進んだことで営業利益、経常利益とも計画を上回る見込であります。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は利益増に加え繰延税金資産の計上を見直したことなどにより計画を上回る見込であります。

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移する予定のため業績予想に変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上